

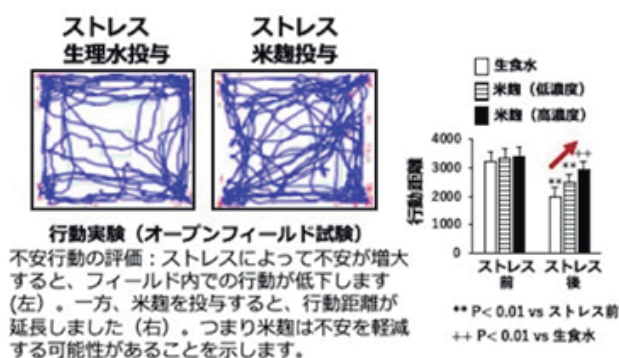
米麴がマウスのストレスを軽減することを確認しました



八海醸造株式会社（本社：新潟県南魚沼市、代表取締役：南雲二郎、以下弊社）は、新潟大学大学院医歯学総合研究科（新潟県新潟市）および新潟県農業総合研究所食品研究センター（新潟県加茂市）との共同研究により、米麴を摂取することで不安や痛みなどの心理身体的ストレス症状が軽減されることが、モデル動物を用いた研究から明らかになりました。これは麴甘酒の原材料でもある米麴が、ストレス解消作用を持つ事実を確認できたこととなります。日頃から麴甘酒についてお客様からお寄せいただいた便通改善効果や肌の保湿維持および免疫向上機能などの健康効果の検証を進めている弊社にとって、麴甘酒が身体だけでなく心の健康にも寄与できる可能性を見出すことができたこととなります。

今回の研究は、米麴または米麴に含まれることが知られているエルゴチオネインを心理身体的ストレス状態のマウスに毎日経口摂取させ、9種類の心理身体的ストレス状態に置かれた状況における効果を調べました。その結果、ストレス誘発性の不安（図1）や痛みに関連する行動が軽減することを明らかにしました。そのメカニズムは、体内の不安や痛みの情報を処理する領域に存在する神経細胞の働きが改善されることが示唆されました。またヒトの神経モデル細胞を用いた実験では、米麴またはエルゴチオネインは、神経細胞の成長を調節する脳由来神経栄養因子 BDNF (Brain-derived neurotrophic factor) の量を調節するなど、細胞レベルでの機能に影響を与えることも明らかになりました。この研究は2023年9月13日に食品・栄養学専門学術誌である *Nutrients* に論文「Preventive roles of Rice-koji extracts and ergothioneine on anxiety- and pain-like responses under psychophysical stress conditions in male mice. (米麴とエルゴチオネインの心理身体的ストレスを受けたマウスの不安および痛み反応に対する軽減機能)」として受理されました。

図1 フィールド内での行動軌跡



なおエルゴチオネインは、きのこなどの菌類や一部の微生物だけが産生できる希少なアミノ酸で、弊社が2016年に行った成分分析において、麹甘酒にも含まれていることを見出したものです。エルゴチオネインは抗酸化能を有し、これまでに抗うつ機能、脳の認知機能を改善する機能などが報告されています。ヒトが天然性のエルゴチオネインを体内に取り入れるには、麹菌発酵食品やキノコなどから摂取するしかありません。

今回このような結果が示されたことで、ヒトが実際に麹甘酒を飲むことで心理・物理的ストレス軽減に寄与するかどうか、さらなる検証を進めてまいります。麹甘酒のリーディングカンパニーとして、弊社では本研究のみならず麹甘酒の効果と魅力をあらゆる側面から引き続き深掘り明らかにすることで、消費者の皆様へ安全で安心できる製品をお届けしてまいります。

麹甘酒に関する八海醸造の研究についてこれまではこちらをご参照ください

▶ 八海醸造 研究開発ページ

<https://www.hakkaisan.co.jp/research-development/>

このリリースに関する報道機関からの問い合わせ先

(八海醸造グループ広報担当窓口)

株式会社八海山 広報担当：浜崎 東京都中央区築地 4-5-9 築地安田第二ビル 3階

Email: press@hakkaisan.co.jp 電話 03 - 6264 - 3366